

月岡温泉のビッグデータ分析

～月岡温泉に来訪する日本人観光客の動向分析～

2024年10月



新発田市観光協会

 **DBJ** 株式会社日本政策投資銀行
新潟支店

協力  **DBJ** DBJ デジタルソリューションズ
日本政策投資銀行グループ

目次

第1章	本調査について		P. 2
第2章	ビッグデータ分析		P. 8
2-1	月岡温泉来訪者の属性分析		P. 9
	①性年代		
	②居住地		
	③宿泊率		
2-2	月岡温泉のコロナ禍からの回復状況分析		P.15
	①来訪者推移		
	②居住地別来訪者推移		
	③宿泊率推移		
2-3	周辺主要観光スポットとの周遊分析		P.19
	①月岡温泉と周辺観光スポットの同時来訪者割合		
	②周辺観光スポットへの同時往訪者の属性分析		
第3章	要旨・今後に向けて		P.23

第1章 本調査について

本レポートの狙い

- 月岡温泉は大正時代に石油掘削中に温泉が湧き出し湯治宿として人気が出たのち、高度経済成長期に新潟の奥座敷と呼ばれる観光温泉地として賑わった県内有数の観光地・温泉地である。
- 近年は、団体旅行の減少や個人客増加による顧客ニーズの多様化等により、旅館単独での顧客満足度の追及にも課題が見えてきていた中で、旅館単独ではなく「温泉街」としての魅力を向上させるべく、まちづくり会社「ミライズ」の設立等、「歩きたくなる温泉街」としてのまちづくりにも取り組んできた。結果としてこれまで訴求できなかった若年層へのアプローチに成功し、宿泊施設の稼働率の向上に繋がる等、成果を出してきているところ。

<調査における問題意識と狙い>

- 時代に応じた進化を遂げてきた月岡温泉だが、足許ではコロナ禍からの回復や、中長期的には更なる誘客や消費額向上などの課題も有する。
- 本調査では、既存調査では得られ難かった月岡温泉への来訪者の属性や行動データ、周辺観光地への周遊状況を、ビッグデータを活用し分析するものである。
より詳細な顧客データを獲得することで、更なるマーケティング施策づくりの一助となることを期待している。

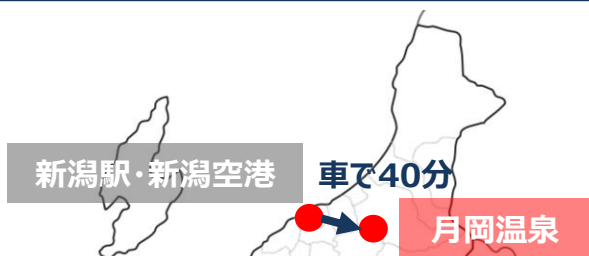
<調査手法>

- 月岡温泉への日本人観光客を対象に、携帯の位置情報を基にした人流ビッグデータを活用し（「KDDI Location Analyzer」を使用）新発田市観光協会及びDBJグループにて、下記分析項目について整理した。
 - 月岡温泉の来訪者の属性分析（居住地、平日・休日、昼夜間の分布、滞在の傾向など）
 - 月岡温泉のコロナ禍からの回復状況分析
 - 月岡温泉と主要観光スポットの周遊分析(性年代分析及び同時来訪割合の分析)

月岡温泉について

- 月岡温泉は、新潟市から車で40分の新発田市に位置する温泉地であり、新潟の奥座敷として古くから親しまれてきた。
- 開湯は1915年であり、石油掘削の際に湯脈が偶然発見されたことから始まり、硫黄含有量が多く（硫化水素イオン含有量全国1位、総硫黄量全国2位）、美しいエメラルドグリーンの湯が肌の保湿効果が高く、美人の湯としても知られる。
- 日本の温泉100選（日本旅行社）にも選ばれる他、月岡温泉に位置するホテル泉慶はプロが選ぶ全国ホテル旅館100選（2024年）にて総合第4位（（株）旅行新聞社）の評価を受けている等、県内有数の観光地である。
- 1990年代以降はバブル崩壊と共に宿泊客が減少、閉鎖店や空き店舗が増加し、温泉街は停滞していたが、2014年の開湯100周年の節目に発足した合同会社ミライズが「歩いて楽しい温泉街へ」のスローガンを掲げ閉鎖店や空き店舗の再生によるまちづくりを行う等、近年は更なる発展に向けた取組が進められている。

月岡温泉所在地と主要観光スポット



共同浴場「美人の泉」	地元客も多く、肌がつつるになる共同浴場
あしゆ湯足美（ゆたび）	幻想的な空間で足湯を無料で楽しめる
源泉の杜（もり）	硫黄泉の飲泉が可能なパワースポット
月あかりの庭	様々な和柄がデザインされた行灯が連なる憩いの場
新潟地酒 premium SAKE 蔵KURA	新潟全酒造のプレミアムな日本酒90銘柄をセレクトしたショップ。試飲可。
新潟地物 premium SELECTION 旨UMAMI	新潟県の旨味成分を集めたお土産屋

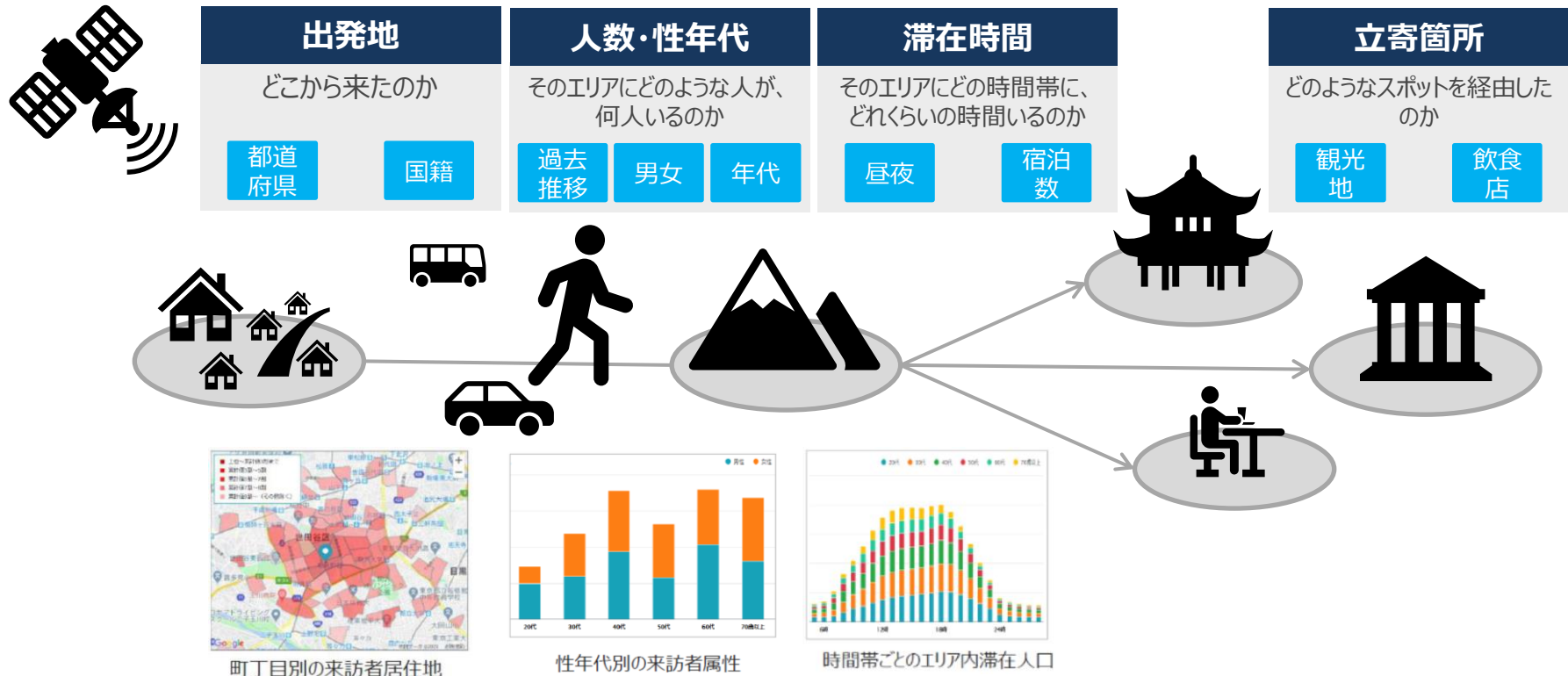
新潟県主要観光地点入込数（2022年、道の駅除く上位）

	市町村	観光地点等	2022	2021
1	長岡市	寺泊魚の市場通り	1,702,000	1,057,300
2	新潟市	新潟ふるさと村	1,598,000	1,397,200
3	新潟市	ピアBandai	1,109,919	993,084
4	弥彦村	彌彦神社	1,088,733	908,410
5	新潟市	食と花の交流センター	675,130	681,197
6	新潟市	花夢里にいつ	601,289	622,813
7	新潟市	白山神社(初詣を除く)	586,000	567,000
8	新潟市	新潟市水族館（マリニピア日本海）	492,040	419,589
9	妙高市	妙高高原温泉郷	482,130	458,970
10	湯沢町	越後湯沢温泉	451,050	297,440
11	長岡市	国営越後丘陵公園	402,793	371,856
12	弥彦村	弥彦山ロープウェイ	383,440	356,510
13	五泉市	ラポルテ五泉	369,881	R4から対象
14	新発田市	月岡温泉	353,218	298,244
15	上越市	上越市立水族博物館「うみがたり」	322,921	243,477
16	柏崎市	日本海フィッシャーマンズケープ	317,210	284,000
17	関川村	地域文化交流施設「ちぐら」	311,503	294,393

GPS位置情報ビッグデータ分析について

- 本レポートにて使用した、KDDI Location Analyzerは、個別同意を得たauスマートフォンユーザーから最短2分、最初10mメッシュ単位で位置情報を収集したもの。本人確認済みの正確な性年代情報が反映されている。
- 本レポートでは、上記の位置情報（ビッグデータ）を活用し、観光客の人流・属性（来訪人数・居住地・性年代・滞在時間・他訪問地点など）を分析した。

データ収集・分析結果イメージ



GPS位置情報ビッグデータ分析ツールと分析条件

人流分析について

- 本データは、技研商事インターナショナル株式会社「KDDI Location Analyzer」より作成。「KDDI Location Analyzer」は、auスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計している。また、集計に際しては人流データの拡大推計を実施している。よって、本分析では、全てに「来訪者数」と記載しているが、正しくは「推計した来訪者数」であることに注意されたい。

日本人を対象とした分析ツール

KDDI Location Analyzer

- 国内居住者のauスマートフォンユーザーがベース
- 同一ユーザーのカウントを月単位、日単位で行うことが可能（※）。
- 2地点での同時来訪の集計が簡易的に実施可能。
- コロナ禍中のデータ整備が行われている。

（※）対象期間における、複数回来訪する同一人物のカウント方法について

本レポートでは来訪数のカウントについて以下の2手法が用いられるが、注意書きが無い限り原則「月ユニーク」を採用している。

- 月単位（月ユニーク）：1か月のうち同一人物の来訪回数のカウントは、当該月の来訪回数に関わらず1回までとする集計方法
- 日単位（日ユニーク）：1か月のうちの同一人物による複数回の来訪は、日数毎にカウントされる。

日本人版 KDDI Location Analyzerの特徴

特徴1	大量のサンプルと、粒度の細かなデータ：国内居住者の数百万人のau スマートフォンユーザーから個別同意を頂き最短2 分単位、最小10mメッシュ単位で位置情報を収集。
特徴2	正確な性年代情報：スマートフォン契約時の本人確認済みの性年代を反映。
特徴3	鮮度の高いデータ：2018年1月から直近数日前までの全国分データを保持。鮮度の高いデータを用いて分析可能。 ※プライバシーの保護：個人を特定できないようにデータを整形。小地域（メッシュ・町丁目）・道路単位の性年代別滞在者が10 人未満の場合、秘匿処理が施される。
特徴4	拡大推計に対応：GPS位置データの取得時に応じた国勢調査データを利用し、市区町村、町丁目単位で拡大推計を実施。

本調査データの位置付け

携帯電話位置情報を活用したビッグデータ分析※の特徴

- ① 大量のサンプルと粒度の細かいデータ … 精度高く**任意のエリア・地点**にて来訪者集計が可能に。
- ② 正確な性年代・居住地情報 … アンケート等に頼らずとも**来訪者の属性分析**が可能に。
- ③ 一定範囲内・地点の行動データ … エリア内における**来訪者の行動分析**が可能に。

今回調査の位置付け

	既存調査 (主要なものを抜粋)	今回調査
来訪者データ	新潟県観光入込客統計調査(※1) (宿泊施設・日帰り施設が対象、属性情報は含まない)	月岡温泉エリアへの来訪者数 [同スポットに30分以上滞在者] (施設に限らない、 属性情報含む) 宿泊、日帰り来訪者数 (属性情報含む)
	新潟県温泉利用状況報告書(※2) 新発田市観光統計 (非公表) (宿泊施設が対象、属性情報は含まない)	
周遊に関するデータ	—	周辺スポットとの周遊データ

(※1) 『新潟県観光入込客統計調査結果』新潟県

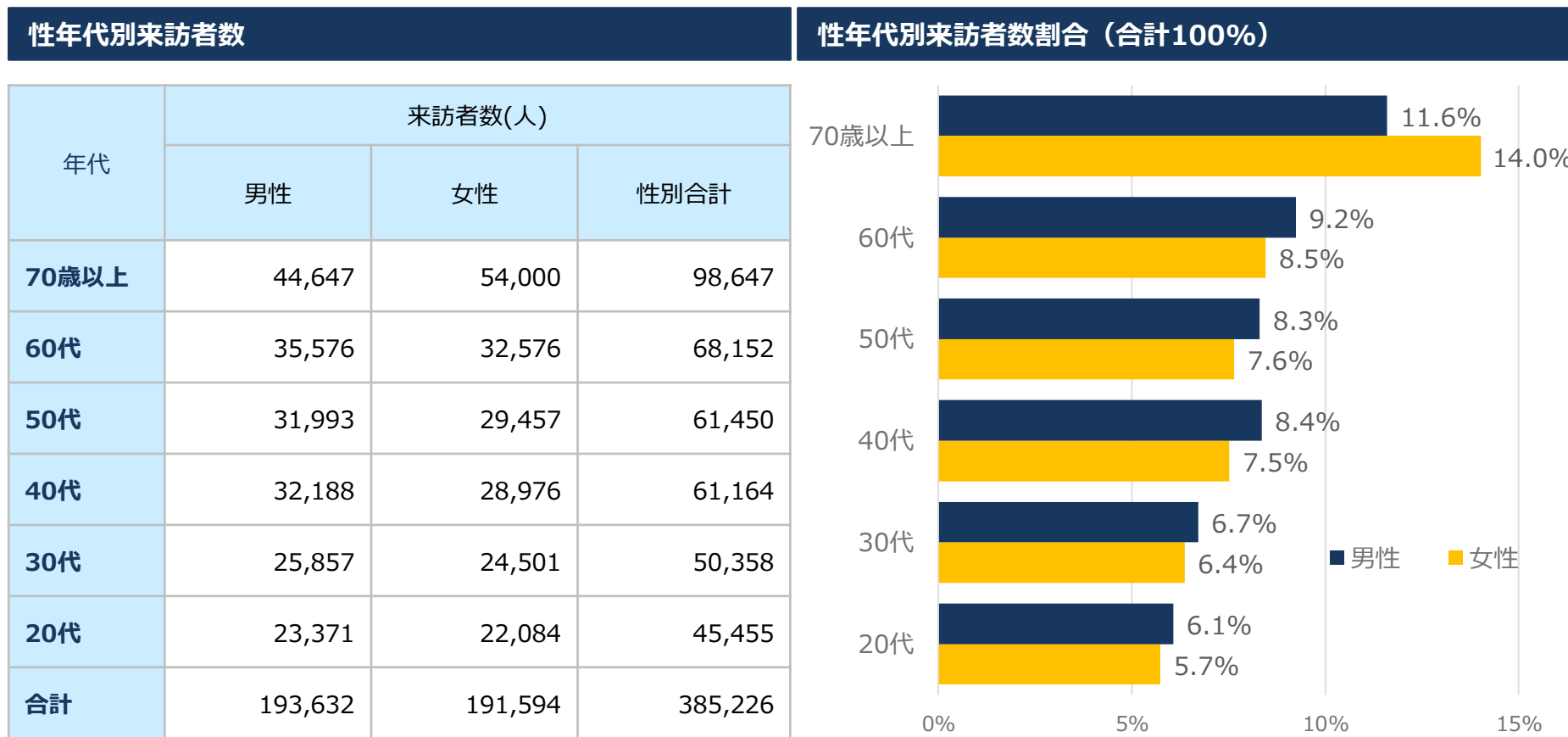
(※2) 『温泉利用状況報告書』新潟県

第2章 ビッグデータ分析（2023年度）

2-1 月岡温泉来訪者の属性分析

来訪者の属性分析①：性年代

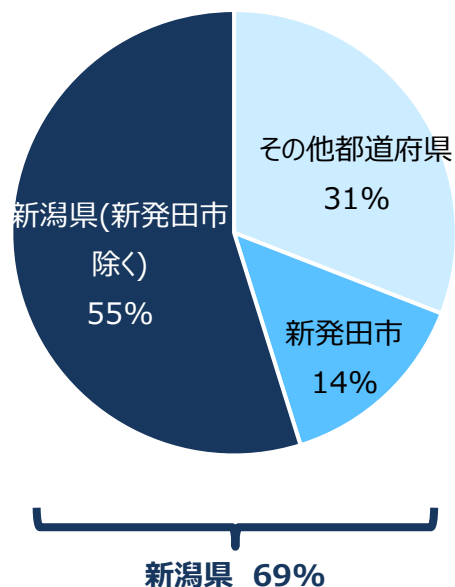
- 月岡温泉の2023年度来訪者38.5万人を対象に、性年代別の傾向を分析した。
- 年代が上がるにつれて来訪者が多くなる傾向にあり、特に70代以上の割合は大きく、20,30代の2倍程度、全体の1/4を占める。
- 男女比率については、男性：女性＝50.3%：49.7%とほぼ同数となっている。世代ごとの傾向として、ほぼ全ての世代で同数乃至男性の方が僅かに多いが、70代以上の世代は女性の割合が顕著に高い。



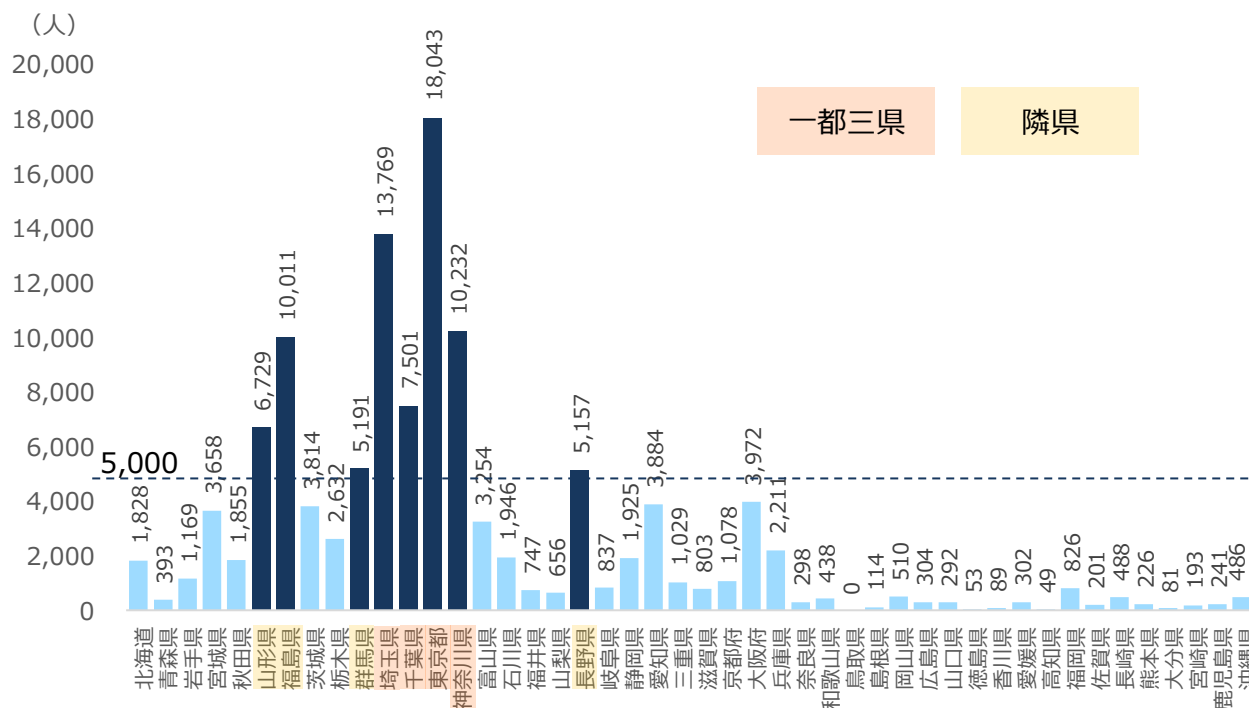
来訪者の属性分析②：居住地（1／2）

- 古くから「新潟の奥座敷」と呼ばれる月岡温泉への来訪者は、実際にどのエリアから来訪しているか（＝居住している都道府県）を調査した。
- 月岡温泉の2023年度来訪者38.5万人のうち、**新潟県内居住者は全体の7割弱を占めており、新潟県内需要の高さが改めて確認された。**なお、新潟県内居住者のうち、**新潟市は県内来訪者の1/5、全体の14%を占める。**
- **県外は周辺及び大都市圏が多い。**特に、人口母数の多い**首都圏（一都三県）**で県外全体の半分弱、**福島県を始めとした隣県4県も含めると2/3程度を占める。**

新潟県内外別来訪者数・割合



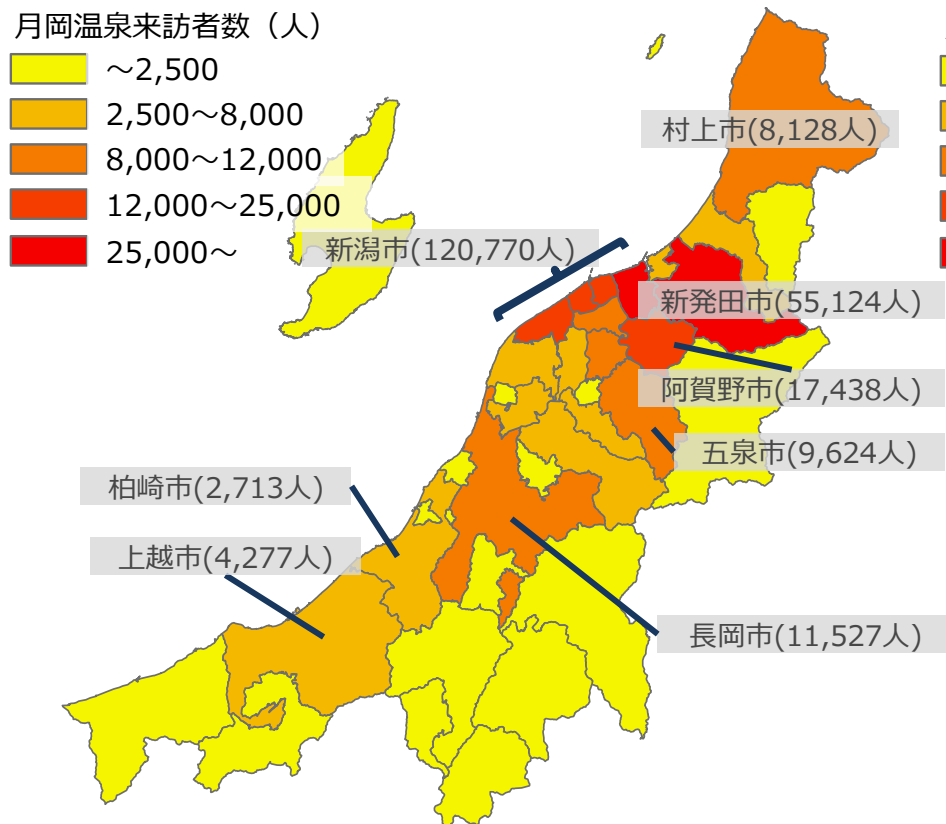
県外来訪者の都道府県別居住地



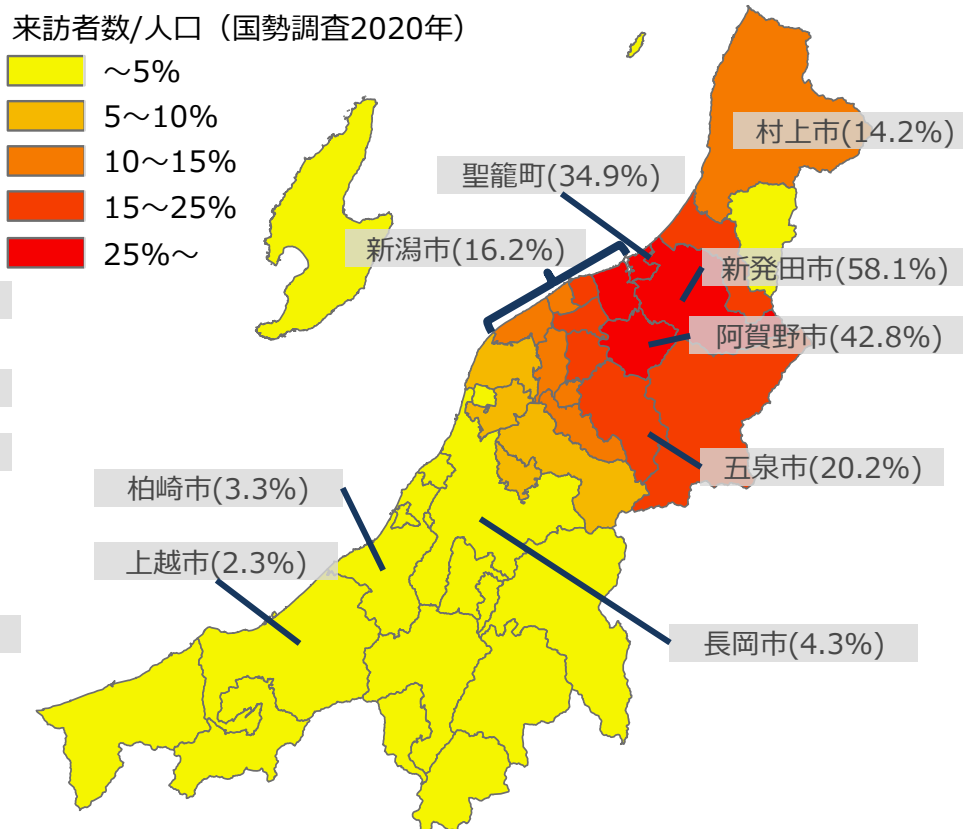
来訪者の属性分析②：居住地（２／２）

- 県内来訪者数の市町村別では、新潟市(約12万人)及び新発田市(約6万人)が圧倒的に多く、県内来訪者のおよそ7割程度を占める。次いで、阿賀野市(約2万人)、長岡市(約1万人)と続く。
- 各市町村の人口あたりの来訪者割合を確認すると、新発田市を中心に同心円状に分布しており、距離と人口比に相関があることが顕著に表れている。本ポイントは後述の日帰り需要が関係していると考えられる。

新潟県内の市町村別来訪者数

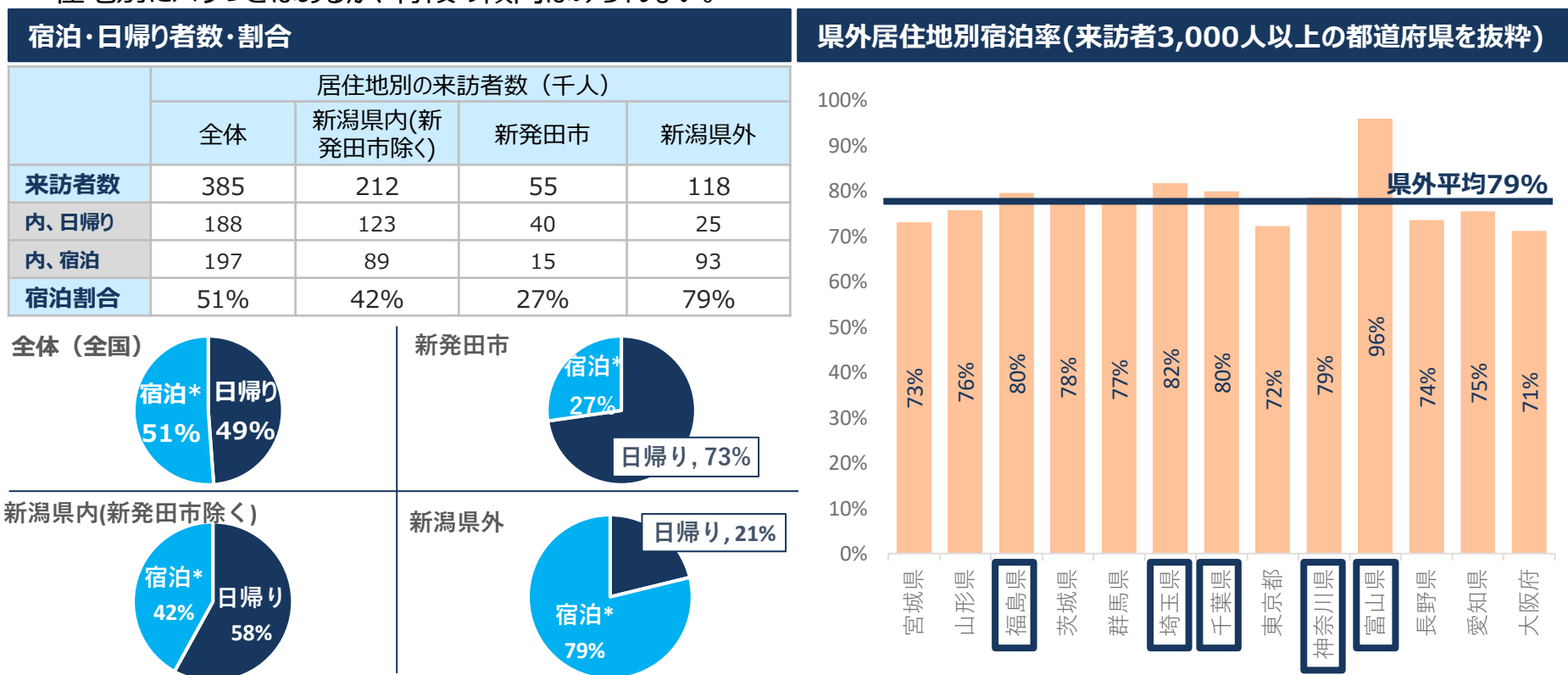


新潟県内の市町村別来訪者数（人口比率）



来訪者の属性分析③：宿泊率（１／２）

- 温泉街への来訪者のうち、日帰り・宿泊者数・割合についても調査したところ、**全体の宿泊率は51%となり、日帰り者と宿泊者はほぼ同数**であることがわかった。
- 但し、**県内外で大きく傾向は異なり**、新発田市からの来訪者は7割強が日帰り、新発田市以外の県内来訪者でも6割弱が日帰り、**県内来訪者は日帰り中心の利用**となっている。月岡温泉は宿泊施設が多いものの、**足湯や日帰り温泉等の日帰り滞在向けの施設が充実**していることが背景として考えられる。
- 他方、**県外からの来訪者は8割近くが宿泊客**であり、宿泊者数を比較すると県内と県外ではほぼ同数である点が特徴的。居住地別にバラつきはあるが、特段の傾向はみられない。



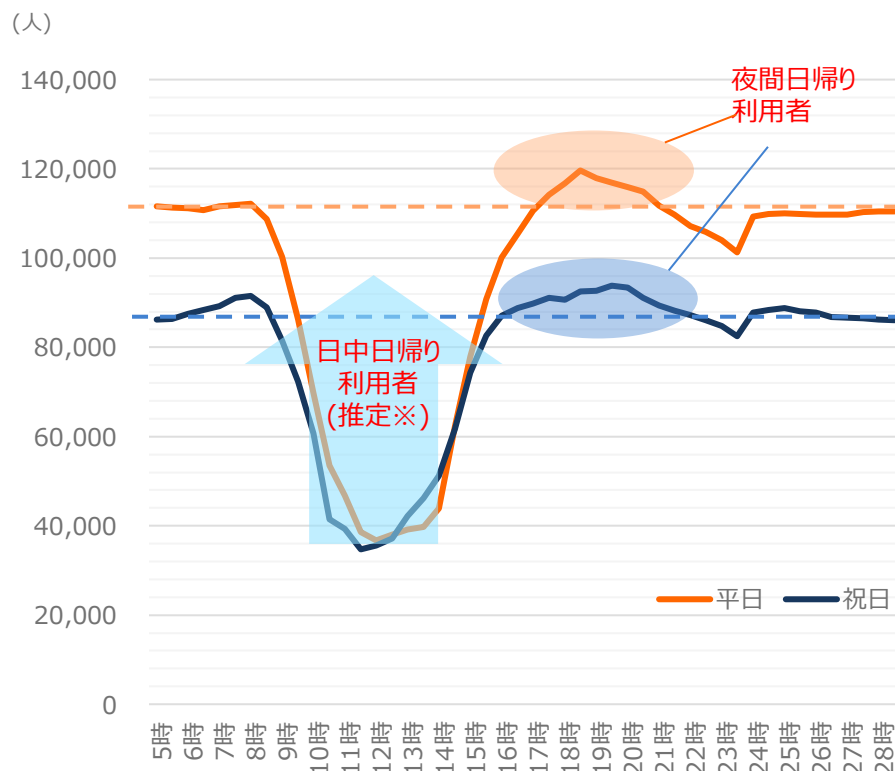
(出所)「KDDI Location Analyzer」より作成

*)宿泊の計測では、深夜0時から翌日の4時（ただし、計上する日は、前日扱い）

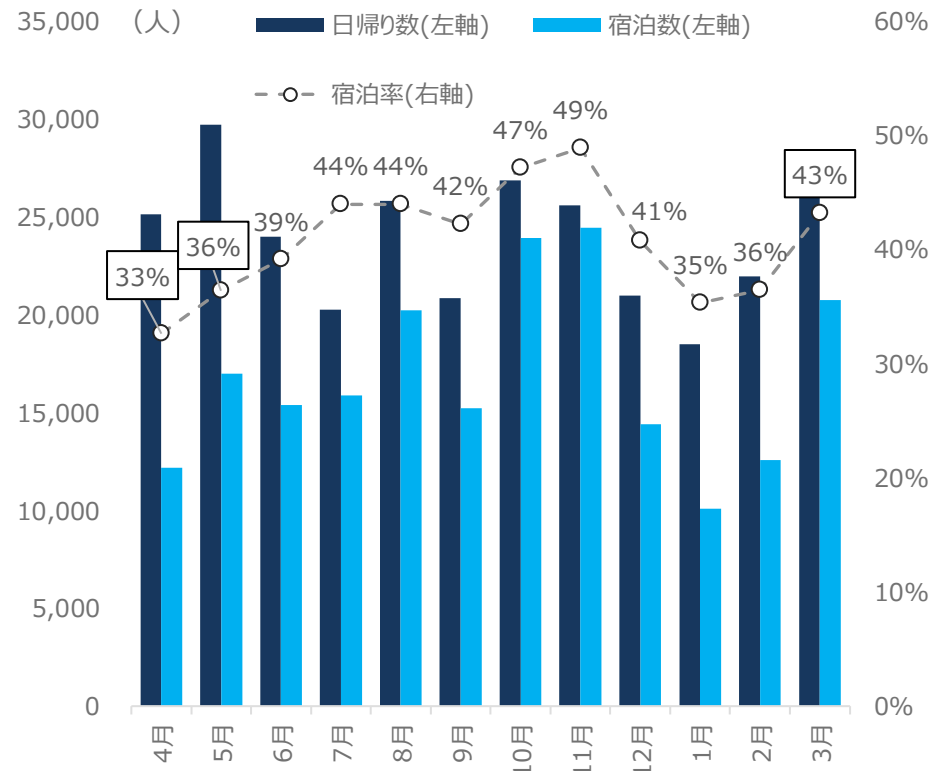
来訪者の属性分析③：宿泊率（2／2）

- 月岡温泉に多い日帰り需要について、日中利用（温泉、まちあるき等）と夜間利用（宴席等）に大別されるが、昼夜間利用者数分析を行ったところ、日帰り来訪者数約19万人のうち、夜間利用者はおよそ2万人、日中利用者は残りの約17万人であることがわかった。
- 来訪の季節性について、宿泊来訪者数は長期休暇時や秋などの繁忙期に多くなる傾向にあるが、**日帰り来訪者数は比較的季節性は少なく通年で一定の来訪者数を記録している。**

昼夜間利用者数推移（平日は5曜日、休日は2曜日の合計）



月別宿泊・日帰り者数推移



※：集計方法上、30分以内の短期滞在者はうまく集計できず少なめに出現する傾向にあるため、足湯等の短期滞在者が多いと思われる日中利用者数は参考数値の位置付け
 (右図) 日ユニークによる集計方式。宿泊数は、24～4時に30分以上の滞在者
 (出所)「KDDI Location Analyzer」より作成

2-2 月岡温泉のコロナ禍からの回復状況分析

コロナ禍前後分析①：来訪者数推移

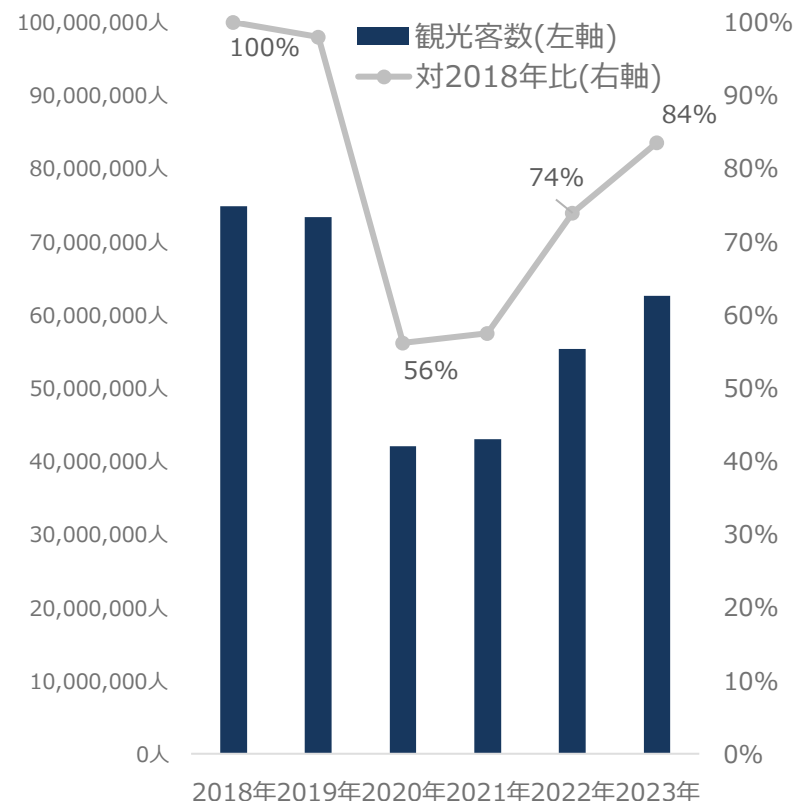
- コロナ禍でダメージを受け来訪者数は急減。コロナ禍明けの2023年度も2018年度比6割と十分に回復していない。宿泊者数、日帰り者数のいずれも同程度の回復状況。
- 新潟県全域においては2018年度比8割強の回復となっており、県全体と比較すると月岡温泉の回復はやや遅れている。
- 但し、宿泊者数を調査している別統計においては県全体と同程度の8割強回復という結果もあり、留意が必要(※1)。

コロナ禍前後の来訪者数推移（単位：千人）

<本調査>	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2023/2018 比率
来訪人数	646	-	-	-	-	385	60%
内、宿泊者数	326	-	-	-	-	197	60%
内、日帰り者数	320	-	-	-	-	188	59%
宿泊比率	50%	-	-	-	-	51%	

<別統計>	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2023/2018 比率
(i)新潟県観光入込客数 統計調査(足湯含む)	614	507	363	298	353	371	60%
(ii)新潟県温泉利用状 況報告書(延べ宿泊人数)	315	317	226	206	259	-	-
(iii)新発田市統計 (同上)	358	326	241	227	282	309	86%
宿泊比率(=(iii)/(i))	58%	64%	66%	76%	80%	83%	

(参考)新潟県全域における直近5年間の来訪者数推移

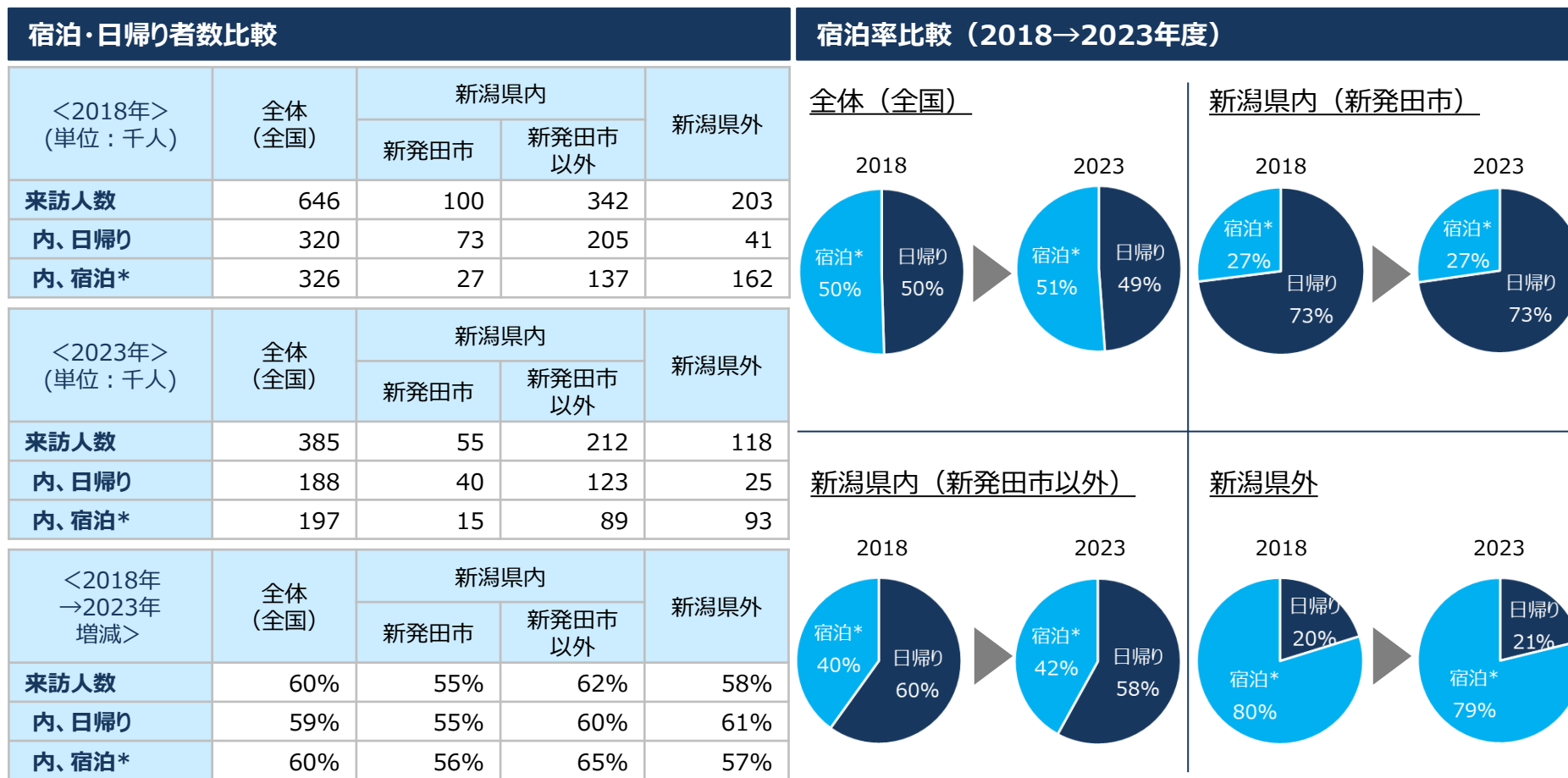


(出所)「KDDI Location Analyzer」より作成
(右図出典)「令和4年度新潟県観光入込客統計」新潟県

(※1)本調査では連泊者や同月複数回宿泊者も一人としてカウントしている点や、既存別統計は延べ宿泊数である一方主要宿泊施設への聞き取り調査である点等、異なる調査であることは要留意

コロナ禍前後分析②：居住地別来訪者数増減

- コロナ禍前後（2018→2023年度）の傾向について、居住地別の差異の有無も分析。
- 宿泊・日帰りのいずれも、**居住地による差異は僅少**で、**おしなべて50%-60%前後の減少率**となっている。
- 宿泊率についても、居住地別での変化はなし。



(出所)「KDDI Location Analyzer」より作成

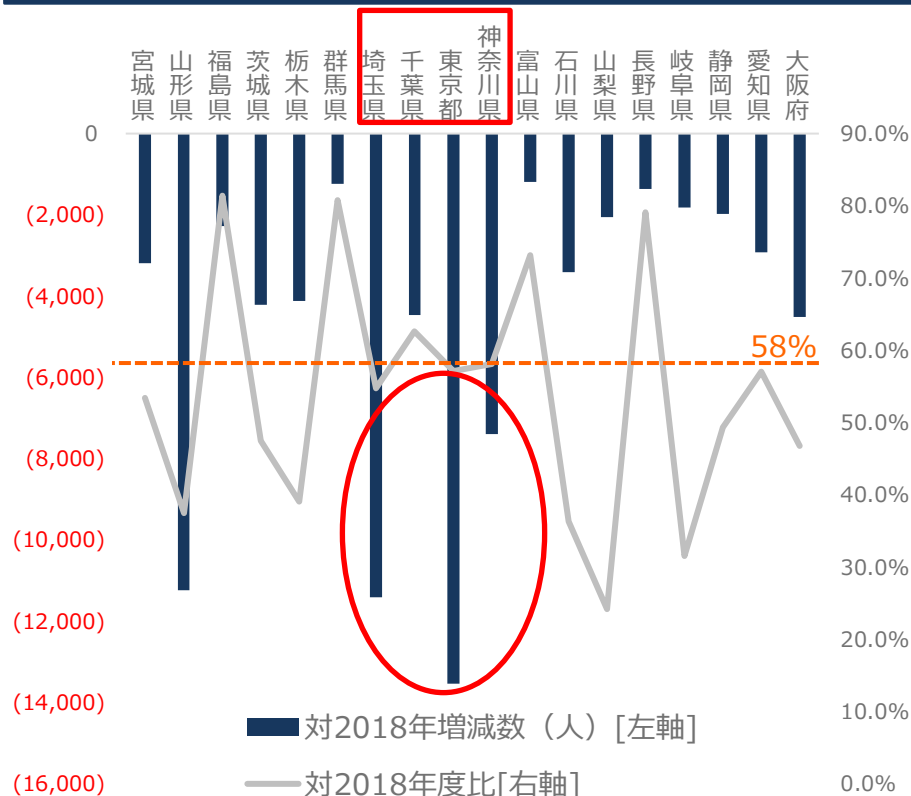
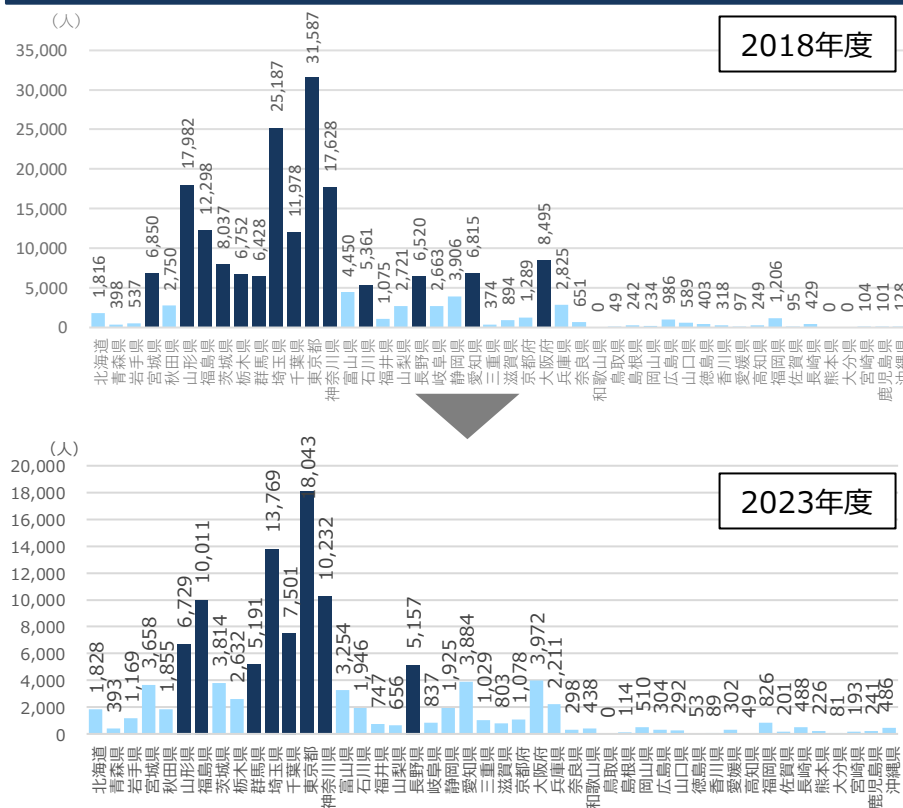
*)宿泊の計測では、深夜0時から翌日の4時（ただし、計上する日は、前日扱い）

コロナ禍前後分析②：都道府県別来訪者推移

- 2023年度の県外来訪者数は2018年度比58%となっているが、更に都道府県別に傾向を分析した。
- 近隣県（福島県、群馬県、富山県、長野県）からの来訪者は概ね7～8割の回復を見せている。
- 一方、母数の大きい一都三県が6割前後とやや回復が遅い。
- また、原因不明だが、近隣県ながら山形県も約4割回復と遅れが見られる。

居住地別来訪者推移（2023年度再掲）

増減数・率（増減数1,000人以上の都道府県を抜粋）



2-3 周辺主要観光スポットとの周遊分析

周遊分析①：月岡温泉と周辺観光スポットの同時来訪者割合（1／2）

- 月岡温泉来訪前後の周遊状況を把握する初期的調査として、特定の周辺観光スポットの同時来訪の傾向を分析。月岡温泉来訪者のうち、どの程度の割合の人が当該スポットに来訪したかを明らかにした。
- 対象観光スポットは、近隣の入込客数の多い観光施設を含む地理的分散が図られる6スポット（新潟島・万代（ピアBandaiや朱鷺メッセ等）／弥彦神社／燕三条地場産センター／新発田城／千年鮭きっかわ／会津鶴ヶ城）を選定。
- 分析の結果、最も同時来訪の割合が高い新潟島・万代でも約13%（＝月岡温泉来訪者の内7-8人に一人の割合で前後に来訪）と高くなく、それ以外のスポットも5%以下と、当該スポットに関してはほぼ周遊性がないことが判明。
- 今回の調査対象以外のスポットとあわせて周遊している可能性もあるが、近隣からの来訪者・日帰り来訪者が多いという月岡温泉の特徴を踏まえると、月岡温泉を単独の目的地として来訪している層が多いことが類推される。

月岡温泉と周辺観光スポットの同時来訪者数・割合（2023年度）

対象観光スポット	総来訪者数 (万人)	月岡温泉前後に訪れた来訪者 (＝同時来訪者)	
		同時来訪者数 (万人)	同時来訪者/月岡 温泉来訪者
新潟島・万代	143.2	5.1	13.3%
燕三条地場産センター	115.6	1.9	5.0%
会津鶴ヶ城	82.2	0.4	0.9%
弥彦神社	59.7	2.2	5.6%
千年鮭きっかわ	6.1	0.3	0.7%
新発田城	5.4	0.8	2.1%

<左表項目詳細>

- 「総来訪者数」：各対象観光スポットの2023年度における来訪者数
- 「同時来訪者数」：月岡温泉への来訪者のうち、その前後に各対象観光スポットに来訪した人数
- 「同時来訪者数/月岡温泉来訪者」：月岡温泉への来訪者のうち、月岡温泉と各対象観光スポットの同時来訪者の割合

<その他>

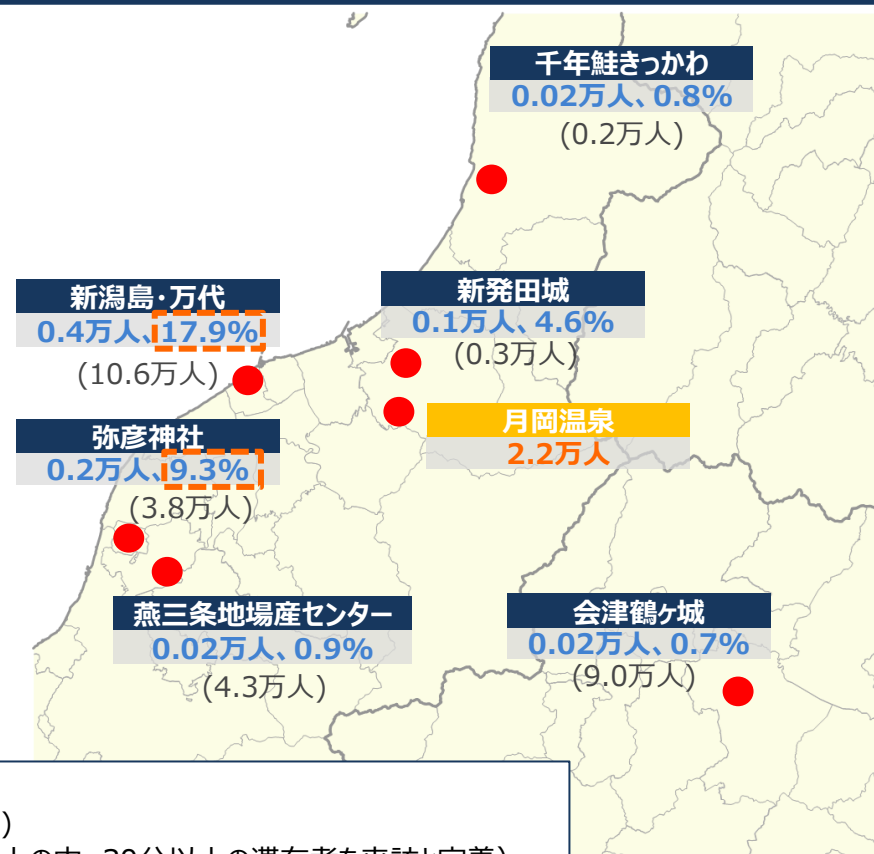
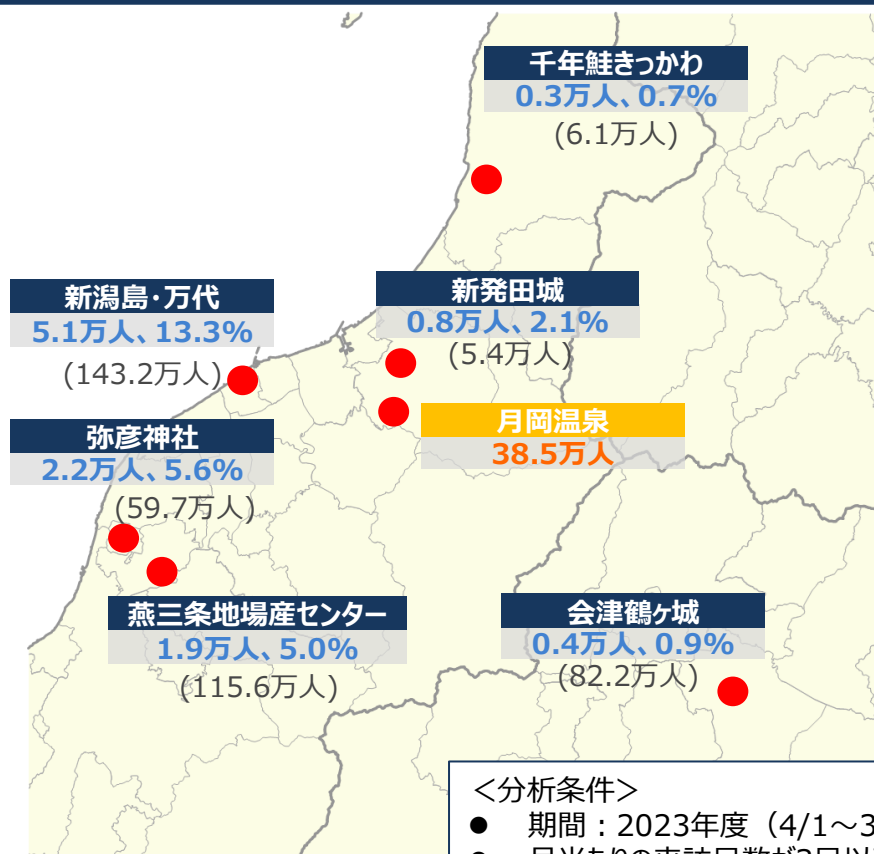
- 各対象スポットのエリア詳細はAppendix P.25-P.26参照。
- 対象観光スポット「新潟島・万代」：ピアBandai、旧齋藤家別邸、新潟市水族館 マリンピア日本海、白山神社、朱鷺メッセ、Befcoばかうけ展望室といった主要観光スポットを網羅。

周遊分析①：月岡温泉と周辺観光スポットの同時来訪者割合（2／2）

- 前頁分析を、純粋な観光客かつ日帰り比率の低い**東京居住者のみを対象**に同様に実施。
- 結果は、**新潟県・万代や弥彦神社は約4ポイント高い傾向を示す**も、基本的には各スポットで全来訪者と同様の同時来訪傾向を示し、高い周遊性を確認することはできなかった。

（参考）“全来訪者”における周辺観光スポットへの同時来訪

“東京居住の来訪者”における周辺観光スポットへの同時来訪



<分析条件>

- 期間：2023年度（4/1～3/31）
- 月当たりの来訪日数が3日以下の人の内、30分以上の滞在者を来訪と定義

<左図の同時来訪について（青太字）>

（左）同時来訪者数
（右）同時来訪者数／月岡温泉の来訪者全体に占める割合
（黒字括弧内：スポット来訪者総数）

<右図の同時来訪について（青太字）>

（左）同時来訪者数
（右）同時来訪者数／月岡温泉の来訪者全体に占める割合
（黒字括弧内：東京在住者のスポット来訪者総数）

周遊分析②：周辺観光スポットへの同時往訪者の属性分析

- 月岡温泉来訪の前後に他スポットを来訪した同時来訪者の性年代属性を分析した。
- 全体的に、月岡温泉来訪者は年齢層が高くなるほど占める割合も大きくなっていったが、他地点との同時来訪率は年齢が低くなるほど大きくなる傾向であることが見て取れる。
- 特に、新潟島・万代は平均13.3%に対して20-30代は20%前後、平均5.0%の燕三条地場産センターも20-30代は10%前後と特に高い傾向を示した。
- 若い層を月岡温泉に呼び込むにあたって、他スポットからの周遊を促す施策が有効である可能性が示唆される。

周辺観光スポットへの同時往訪者に関する性年代別割合

対象観光スポット	同時来訪者		男性							女性					
	同時来訪者数(万人)	同時来訪者/月岡温泉来訪者	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上		20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
月岡温泉	38.5	100%													
新潟島・万代	5.1	13.3%	24.2%	20.7%	11.5%	14.0%	11.5%	8.4%	18.9%	13.9%	17.6%	12.2%	10.8%	8.1%	
燕三条地場産センター	1.9	5.0%	7.5%	5.9%	2.6%	4.7%	3.2%	4.8%	4.8%	7.4%	5.1%	4.4%	6.9%	6.5%	
会津鶴ヶ城	0.4	0.9%	0.0%	0.5%	0.8%	1.6%	0.8%	0.9%	10.3%	7.9%	3.1%	4.3%	4.8%	4.2%	
弥彦神社	2.2	5.6%	2.8%	2.8%	6.6%	5.3%	6.6%	5.8%	0.0%	0.0%	2.5%	1.0%	1.2%	2.7%	
千年鮭きかわ	0.3	0.7%	1.1%	0.6%	0.5%	0.5%	0.7%	1.6%	1.7%	0.0%	1.1%	1.5%	0.9%	1.0%	
新発田城	0.8	2.1%	3.9%	0.7%	0.6%	3.0%	3.6%	3.7%	0.0%	0.7%	0.4%	0.1%	0.8%	0.8%	

第3章 要旨・今後に向けて

要旨（１／２）

来訪者の多くは近隣地域からだが、宿泊需要は県内外同水準（P9～14）

- 月岡温泉の2023年度来訪者38.5万人のうち、新潟県内居住者は全体の約7割を占めており、新潟県内需要の高さが改めて確認された。特に、全体の14%を占める新発田市を中心に、近い市町村ほど来訪割合は高い。
- 但し、県内、特に近隣来訪者の多くは宿泊ではなく日帰り。公衆浴場や足湯等を日中利用している層が多いと思われる。
- 他方、県外からの来訪者は宿泊利用が多く、宿泊者全体で見ると県内と県外はほぼ同数となっている。
- 県外来訪者の居住地は、隣接県または一都三県で2/3を占める。
- 今後更なる宿泊者数の増加を目指す場合、①日帰り近隣来訪者の宿泊客化、②隣接県または首都圏へのPR、のいずれの方向性も考え得るのではないか。

コロナ禍からの回復状況は県平均より遅れている可能性あり（P15～18）

- 2023年度来訪者は2018年度比で60%に留まっており、県平均回復率の8割強を下回っている。
- 別統計では県平均と同水準の回復率を示すものもあるが、コロナ禍前への回復が十分ではない可能性がある。
- 県内、県外、日帰り、宿泊、いずれもおしなべて同率減少している。
- 県外はボリュームゾーンの一都三県がまだ回復していないことが影響。隣県は山形県を除き相応に回復している。

要旨（2／2）

月岡温泉周辺観光地との周遊性は低い可能性あり（P19～22）

- 月岡温泉を巡る周遊状況を把握する初期的調査として、6カ所の周辺観光スポットを選定し、月岡温泉来訪前後にどの程度の人が当該スポットを訪れたか調査。
- 結果、当該スポットと月岡温泉をセットで訪れている割合は概ね5%以下とかなり小さく、周遊性は確認できなかった。
- 今回の調査対象以外のスポットとあわせて周遊している可能性もあるが、近隣からの来訪者・日帰り来訪者が多いという月岡温泉の特徴を踏まえると、月岡温泉を単独の目的地として来訪している層が多いことが類推される。
- 但し、年齢が低くなるほど他スポットとセットで来訪する人の割合が高くなる傾向にあることや、東京からの来訪者の方が全体平均よりセットで来訪する人の割合が高くなっていたことから、若年層や首都圏の来訪者を更に獲得する上で周遊性は一つのポイントとなる可能性がある。

今後の方針について（１／２）

- 今回の分析を踏まえ周遊性の課題及びプロモーションの方向性について、課題が整理された。月岡温泉の観光消費額を増加させていくためには、県外観光客を増やし、滞在日数を増加させ顧客満足度を向上させ、リピーターにつなげていく必要がある。しかしながら、本調査では各消費者の趣味趣向は調査しきれていないため、今後さらなるニーズを深化させていくためには別途調査が必要となることが課題である。加えて新発田市観光協会としての課題である周遊性と滞在日数を延ばすことで観光消費を増やす施策については、改めて各ターゲットの消費行動に即した商品展開・訴求が必要だと考える。以上のことから、以下のとおり時系列を踏まえ論点を整理する。

1 時系列計画

- （１：短期）県内客のリピート化及び掘り起こし
 - 短期戦略としては継続して県内客の満足度を上げ、リピート化を狙っていく必要があると考える。近隣市町村の県内客は日帰り先としての認識が強い可能性があり、県内住民への宿泊推進策を打つことで宿泊率を上げられる可能性があると思料される。その中で人口数が多く旅行気分を感じられる距離感にある市町村（長岡市・上越市・柏崎市等）からの宿泊数が少ないことから掘り起こしが可能ではないかと考える。
- （２：中期）近接県観光客及び首都圏・関西圏観光客へのプロモーション
 - 新潟県外来訪者は宿泊率が高く、観光消費額の観点からも重要であると考え。特に東京からの宿泊客は同時周遊率が全国平均以上に高い傾向にあり、月岡温泉及び新発田城の同時来訪者が一定数いることから首都圏を中心とした遠方からの来訪者には周辺観光スポットとセットでの楽しみ方の打ち出しにより呼び込みを行うことが有効といえる。また、近接県からの宿泊客がコロナ前より戻りきれていないことから中期的にはこの層にプロモーションをかけていくことも有効と考える。この他、割合的に多くはないが、県外往訪者で日帰り客が一定層存在しており、「マンホールカード(注1)」や「温泉むすめ(注2)」などが誘客に効果を及ぼしている可能性があり、イベント関連のスポット的な来訪に対する施策も効果的な可能性がある。

(注1)下水道広報プラットフォーム(GKP)が企画・監修し、各自治体と共同で作成するマンホール蓋のコレクションカード。2024年9月現在、714の自治体および3団体により全1,076種が展開されている（新潟県内：39種）。新発田市では、新発田市観光情報センター、月岡温泉観光協会等にて配布されている。

(注2)(株)エンパウンドによる、日本全国の温泉地をモチーフにキャラクター化を行い、地方/観光地の魅力を発信する地域活性プロジェクト。

今後の方針について（２／２）

■ （３：長期）インバウンド誘客

- 今査はKDDI Location Analyzerを使ったことから国内客の動向を中心に分析したが、平日対策や長期滞在など需要の平準化などを目的に長期的な目線でインバウンド客を誘客することも必要だと考える。

2 属性別でのプロモーションの方向性

■ 1 女性に向けて特化したプロモーションの必要性

- 70代女性等、月岡温泉の主なターゲット層である女性が消費しやすい環境と女性に特化したわかりやすいサービス内容や予約方法などを提供していくことが増加が見込めると考える（美容・健康面の更なるアピール等）。また、消費を広げていくために特に70代-80代向けの家族の記念日などを祝いやすい商品や環境と整えていくことで、違う世代が一同に揃いそれぞれの世代においてリピーターを見込むことができると考える。そのために、30-40代女性や家族内幹事の方向けのプロモーションも必要であると考え。

■ 2 滞在日数の増加による観光消費額の増加策

- 上記の月岡温泉が行うプロモーションに併せ、新発田市内の各エリアでも20代から30代の若者や女性向けの受入環境整備を実施していくことで、連動性が生まれ周遊性が増すとともに滞在日数の増加に寄与できると考える。

APPENDIX

Appendix①：GPS位置情報ビッグデータ分析ツールと分析条件

- 本分析では、GPS位置情報ビッグデータ分析ツールとして「KDDI Location Analyzer」を使用した（以下、KLA）。特徴は以下のとおり。
- 特徴１．大量のサンプルと、粒度の細かなデータ：国内居住者の数百万人のauスマートフォンユーザーから個別同意を頂き最短2 分単位、最小10mメッシュ単位で位置情報を収集。
- 特徴２．正確な性年代情報：スマートフォン契約時の本人確認済みの性年代を反映。
- 特徴３．鮮度の高いデータ：2018年1月から直近数日前までの全国分データを保持。鮮度の高いデータを用いて分析可能。
 - ※プライバシーの保護：個人を特定できないようにデータを整形。小地域（メッシュ・町丁目）・道路単位の性年代別滞在者が10人未満の場合、秘匿処理が施される。
- 特徴４．拡大推計に対応：GPS位置データの取得時に応じた国勢調査データを利用し、市区町村、町丁目単位で拡大推計を実施。

No	項目	仕様
1	GPSデータのユーザー	国内居住者の数百万人のau携帯所有者から個別同意を得たもの。
2	分析対象のデータ期間	<月岡温泉と主要観光スポットでの併用分析、属性など> 2023年4月1日 ~ 2024年3月31日（年間集計値） <月岡温泉における来訪者数月次推移など> 2018年4月1日 ~ 2024年3月31日 ※月次推移のみを調査するため、各属性値は取得しない。 ※その他、期間を変えた特殊な集計などを実施（各節で補足）。
3	滞在時間	30分（ユーザー（携帯所有者）が当該スポットに留まったとする最低の時間。滞在時間以上で、当該スポットの来訪者として計上される。）
4	1日の時間帯	KLAデフォルトの5:00 から29:00を採用
5	当該スポットの居住者を除くための条件	当該スポットに月当たり4日以上来訪するユーザーは、当該スポットの居住者か勤務者である可能性が高いため、集計対象から除外。
6	集計エリアの面積上限	2つの観光スポットを集計エリアとして設定し、同時来訪の集計などを実施する。KLAでは、この同時来訪の機能を使用する場合、2つの観光スポットの面積合計が3 km ² 以下（各スポットで1.5km ² 以下）となるように定義しなければならない。主要観光スポットのエリア定義は、巻末資料に取り纏めた。
7	期間内の来訪者数の集計方法	本分析では、月ユニークによる集計を基本とした。 月ユニークでは、暦月の中で、同一ユーザーが何回も同一エリアを訪れてもその月において、1回の来訪となる。 例) 4/28: 月岡温泉に来訪 4/29: 月岡温泉に来訪、弥彦神社に来訪 5/1: 弥彦神社に来訪 5/2: 弥彦神社に来訪 5/3: 会津鶴ヶ城に来訪 この場合、4月は月岡温泉に来訪 1人 弥彦神社に来訪 1人 月岡温泉、弥彦神社に同時来訪 1人 5月は、弥彦神社に来訪 1人 会津鶴ヶ城に来訪 1人 弥彦神社、会津鶴ヶ城に同時来訪 1人 ※ただし、来訪者推移（月次推移）に関しては、「日ユニーク」による集計とする(KLA仕様)。 ➢ 日ユニーク： 1日の中で、同一ユーザーが何回も同一エリアを訪れてもその日において、1回の来訪 ➢ よって、月次推移では、暦月に3日来訪した場合、来訪者数3と計上される。

Appendix②：月岡温泉及び周辺観光スポットのエリア定義（1／2）

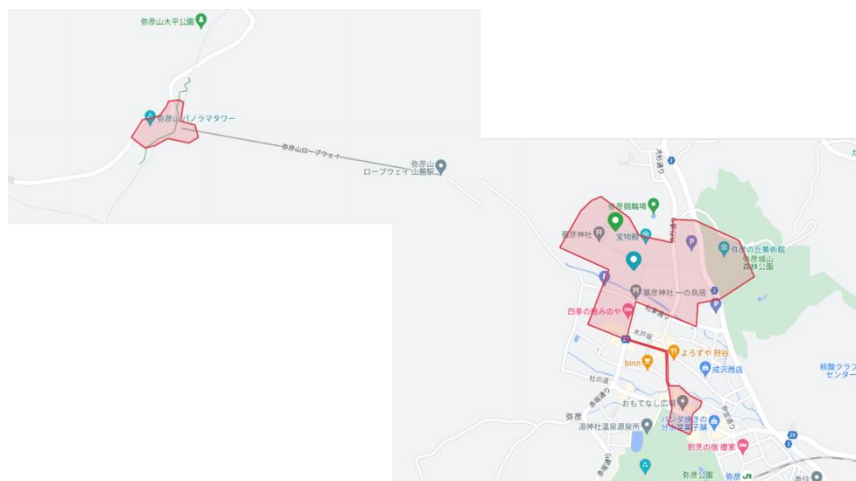
月岡温泉



新潟県・万代



弥彦神社



燕三条地場産センター

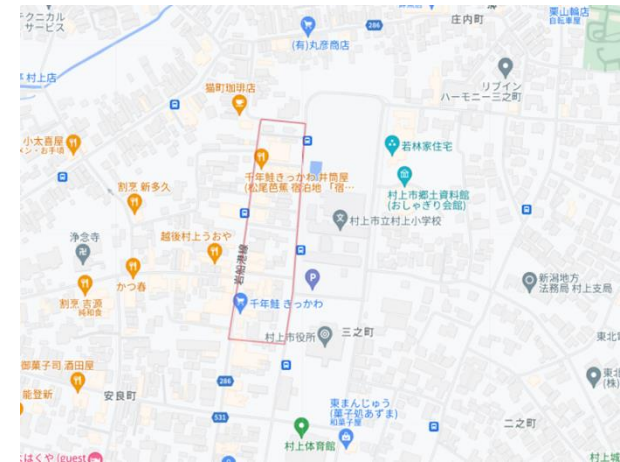


Appendix②：月岡温泉及び周辺観光スポットのエリア定義（2／2）

会津鶴ヶ城



千年鮭きっかわ



新発田城



お問い合わせ先

ご質問、ご相談等がございましたら、何なりと下記連絡先にお問い合わせください。

連絡先

一般社団法人新発田市観光協会

住所：新潟県新発田市諏訪町一丁目2番11号 MINTO館内

TEL：0254-26-6789

e-mail：kanko@shibata-info.jp

株式会社日本政策投資銀行 新潟支店

TEL：025-229-0711（直通）

著作権（C） Shibata City Tourism Association & Development Bank of Japan Inc. 2024

当資料は、一般社団法人新発田市観光協会及び株式会社日本政策投資銀行（DBJ）（以下、「当社」という。）により作成されたものです。

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引などを勧誘するものではありません。本資料は当社が信頼に足ると判断した情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しましては、ご自身のご判断でなされますようお願いいたします。

本資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料の全文または一部を転載・複製する際は、著作権者の許諾が必要です。当社までご連絡ください。著作権法の定めに従い引用・転載・複製する際には、必ず『出所：新発田市観光協会及び日本政策投資銀行』と明記してください。